

第 5 班

今後の建設業のありかたについて

五洋建設株式会社	伊 佐 地 允	鉄建建設株式会社	川 崎 哲 嗣
株式会社フジタ	三 鬼 尚 臣	清水建設株式会社	柳 沼 泰 暁

Ⅰ 機電職として日頃感じること ・ 土木・建築の職員より評価が下になりがちー機電職員の評価基準があいまい ・ 他の社員からの認知度が低いー社内組織における地位が確立されていない ・ 便利屋として扱われることが多いー職員として認識されにくい ・ 案件への参加意識がもちにくいー当初から参加できることが少ない	Ⅲ 今後の建設業のありかたについて② (解決案) (1) 従来型工事における施工の効率化・コストダウンー正当な競争への接近 ・ 新工法の開発・提案 ・ 他社との差別化 (2) 新規分野への参入ー企業の特質を生かし、本業の延長線上で ・ 土壌浄化 ・ リニューアル
Ⅱ 今後の建設業のありかたについて① (現状の問題点) ・ 建設投資額の縮小ー工事量の減少・工事単価の縮小 ・ 発注形態の問題ー過度な地元優遇、企業への過大評価 ・ 適切なコスト評価の欠如ー無闇なコストダウン、設計変更等への不適切な評価 ・ 建設業への悪印象ー俗に言う 3 K、乱暴、など ・ 競争原理の欠如ー企業への不適切な評価、過度な保護	Ⅳ 今後の建設業のありかたについて③ (機電技術者としての役割) ・ 技術提案型案件に対する早期からの関与ー業務の効率化・品質向上への貢献 ・ 事業における重要な役割 ・ 一機械・電気設備が大きなウェイトを占める事業におけるリーダー的役割 ・ 新しい機械・電気技術の情報収集ー業務への応用・展開を常に意識